

【四極の風の会（ハイキング部会）】

平成27年度の活動～年間3回活動しました。

第1回目は春日大社を中心に奈良市のマイナーな観光スポットの旧大乘院庭園と依水園（寧楽=なら美術館を含む）を参観しました。会員が数回は参拝しているだろう春日大社を加えたのは27年6月から20年に一度の式年造替が始まる前に本殿（4棟あり国宝）、後殿、後庭等が公開された為である。もう我々の年令では存命中は見れないと思うと感激もひとしおでした。

第2回目は8月21日に比叡山に登りました。参加者は最近では一番少なく12名でした。延暦寺を選んだのは前回の春日代謝同様この山の中心であり唯一の国宝の等々の根本中堂が9月以降同の大改修が始まり10年近く内部を配管できなくなり今しか見れない為です。現在延暦寺は奥から横川地区、西塔地区、東塔地区、無動寺谷地区と区分され、今回は時間の都合上西塔地区と東塔地区を散策、拝観する。まず、西塔のにない堂という左右に2棟の堂があり左が常行堂、右が法華堂で階段を下りると西塔の中心釈迦堂に参拝し、釈迦堂の左奥の小路を登り奥比叡ドライブウェイを横切り約1km行くと瑠璃堂に着く。ここは信長の焼き討ちを逃れた唯一の建物である。椿堂を左手に見て東塔に向う。参道が広くなりフラットで右側に石灯籠が並ぶ。20分位で東塔の終わり浄土院が見えて来る、ここは最澄の御廟と阿弥陀堂があり叡山一の浄域である。御廟に参拝し、なだらかな坂を登り東塔を目指す。約10分程度で東塔の奥にあたる法華総持院に着く、ここは阿弥陀堂（大型）鐘楼、東塔（多宝塔に近い造り）灌頂堂、寂光堂、回廊と伽藍形式の一つの寺院のようである。階段を下り左に戒壇院があり参観して昼食予定のレストハウスに向い昼食、休憩をとる。午後は東塔の中心と云うより延暦寺の中核の大講堂、鐘楼そして根本中堂、文殊楼、大黒堂等を参拝する。

延暦寺管内で国宝は根本中堂だけであるが、重要文化財の建築物も多く東塔で大講堂、戒壇院、根本中堂の回廊、西塔の釈迦堂、法華堂、常行堂、とその回廊、瑠璃堂、相輪櫓である。山上から朝来たルートを利用して、帰路に着き、出町柳駅で解散する



根本中堂正面



西塔の瑠璃堂

第3回目は11月17日に京都の東山方面に紅葉を求め散策する。

京阪電鉄の祇園四条駅で集合し八坂神社、丸山公園を通り、東大谷（大谷本廟）を右に見て長楽寺（時宗）を訪れる。ここは9世紀初頭の創建で例の壇ノ浦の合戦で入水助けられた建礼門院が当寺で尼になったと伝えられ、本堂横の石造十三重の塔は建礼門院の供養塔といわれる。紅葉を期待しての訪問でしたが早く緑が大半でした。

長楽寺から丸山公園から神宮通に出て知恩院、青蓮院を右に見て琵琶湖疏水の手前仁王門通を右に南禅寺に向い無鄰庵、南禅寺水路閣の橋上水路、塔頭の南禅院、天授庵、金地院の各庭園を参観したが、各々特徴があり満足でした。そこから岡崎公園に向い、昼食とする。生憎雨に合い早々に繰り上げて本日の最終目的地真正極楽寺（真如堂）に金戒光明寺経由で目指す。ここだけ紅葉が少し早めであったがやっと楽しめ帰路につく。東大路を東山三条まで行き、地下鉄やバス、京阪組と別れ解散する。



真如堂三重塔の紅葉



無鄰庵庭園